

## 2015（平成27）年度事業計画

日本鑄造工学会は、2016（平成28）年5月に第72回世界鑄造会議（WFC2016）を、名古屋で開催する。この会議は隔年開催で、日本での開催は1990年の大阪以来第3回目になる。これを機に、定款第3条（目的）「鑄造工学に係る学術及び技術の振興を図り、日本及び世界のものづくり基盤産業の発展に寄与し、社会の豊かな生活を実現することを目的とする」に合致した公益事業を、これまで以上に活発に展開するべく、さらなる飛躍を目指して策定した第2期長期ビジョンの具現化に向け、一昨年来開始した様々な新しい活動を積極的に展開する。

公益事業としては、公1：鑄造工学に関する学術講演会、講習会等の開催事業、公2：鑄造工学に関する調査研究事業、公3：鑄造工学に関する表彰及び奨励事業、公4：鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業、そのほか、他1：会員に頒布する図書発行事業の5つの区分にしたがって従来以上の活動を計画推進する。

活動にあたり学会運営上の経済的課題も多く、ここ数年続けてきた経費削減活動を、今いっそう強化し、今まで以上に無駄を省く活動を展開する。

今年度において実施を計画している事業は以下のとおりである。

### 1. 学術講演会、講習会等の開催事業（公1）

国内の鑄造業界においては、さまざまな課題が山積している。伝統的な鑄造技術を受け継ぎ、さらにそれらを後世まで残していけるような息の長い人材の育成、さらに海外との競争力強化、経営基盤の強化、環境対策、さらに鑄造産業自体を広く国民に理解していただく努力も必要である。今後は一つの企業だけでなく、業界全体でこれらの課題に取り組み、日本全体の利益に寄与していくことが重要となっていく。

活動としては、全国講演大会を春季と秋季の2回開催し、今まで未発表の研究成果を発表し、討論を行う。同時に技術講習会、シンポジウム、若手鑄造技術者を中心とするYFE大会、さらに現場技術者の「現場目線での発表会場」を追加し、現場技術改善事例やQCサークル活動報告などを行う計画である。学生の鑄造離れに対応するため、大会開催時に鑄物の魅力を知ってもらうためのPRの場、また鑄造関連工場の見学会、鑄造関連商品やその技術に関する展示会などの諸行事も同時に開催し、一般市民を含め鑄造の普及活動も進める。特別講演や招待講演として、韓国、中国などの鑄造工学会との交流講演や国内要人の講演を計画している。これから将来を担っていただく方々を対象に、鑄物や鑄造技術を身近に感じることができる「こども鑄物教室」、「いもの体験教室」や工場見学会により、鑄造産業自体を広く国民に理解していただく機会を設け、鑄造工学や鑄物製品に初めて触れ、それを端緒にして、鑄造技術を受け継いでいく人材の育成を図ることにも寄与する。また、高校生を対象にした「理系学生応援プロジェクト」を、北海道のみならず、全国的に拡大して開催する予定である。今年度から新たに「鑄造業向け材料力学入門講座」を開催、及び移設可能な小型キュポラを開発し、日本各地でキュポラを利用したイベントを開催することで、鑄鉄溶解を知ってもらうと同時に技術の伝承を行う。これらに加え、地域に密着し時宜を得たテーマを選び、講演会、講習会を実施していく。その他、関連団体との共催による講演会、講習会、研修会の開催を行う。

#### (1) 講演大会

##### ① 第166回全国講演大会

開催日	2015（平成27）年5月22日～5月25日
場所	早稲田大学 西早稲田キャンパス（東京都新宿区）
行事	a. 研究発表講演会 b. オーガナイズドセッション「銅合金」「現場技術改善事例」

「人材育成」「鑄造設備」「精密鑄造」「3D」「素形材技術」

- c. 日中韓交流講演
- d. 特別講演
- e. パネルディスカッション「鑄造人材育成」
- f. YFE 企画 ・新東研究奨励金受給者・日下賞受賞者の講演,  
・若手鑄造技術者の講演
- g. 学生のための会社紹介コーナー
- h. 工場見学会
- i. 懇親交流会
- j. 技術展示会

②第 167 回全国講演大会（一般社団法人日本鑄造協会との合同開催）

- 開催日 2015（平成 27）年 10 月 23 日～10 月 26 日  
場所 室蘭工業大学（北海道室蘭市水元町）  
行事
- a. 研究発表講演会
  - b. オーガナイズドセッション「精密鑄造」「QC 発表会」他
  - c. 特別講演
  - d. 鑄造コンテスト
  - e. 工場見学会
  - f. 懇親交流会
  - g. 技術展示会

③ 講演会

- a. 論文賞受賞記念講演を春季全国大会時に開催する。
- b. 日下賞受賞記念講演を春季全国大会時に開催する。
- c. 技術賞、豊田賞受賞記念講演を秋季全国大会時に開催する。
- d. 日中韓交流講演を開催する。
- e. 文部科学省科学技術賞受賞講演を秋季全国講演大会時に開催する。
- f. 北海道支部講演大会（4 月 24 日 千歳市）
- g. 東北支部 支部大会 第 45 回宮城大会 4 月 15 日～16 日 仙台市
- h. 加山記念講演会（4 月 17 日）、支部講演会 2 回（関東支部）
- i. 講演会（北陸支部 4 月 石川県）
- j. 講演会（一社）日本鑄造協会北陸支部との共催（北陸支部 石川県）
- k. 特別講演会（東海支部 4 月 名古屋市）
- l. 若手討論会（東海支部 5 月 愛知県, 9 月 静岡県）
- m. 特別講演会（会員交流会）（東海支部 7 月 名古屋市）
- n. 技術講演会（東海支部 9 月 長野県, 11 月 三重県, 2 月 静岡県）
- o. 豊橋技科大特別講義（東海支部 11 月 豊橋市）
- p. 各部会講演会（東海支部 全 4 回）
- q. 講演大会（関西支部 2 回：春・秋）
- r. 鑄造技術講演会（中国・四国支部 4 月, 12 月）
- s. 九州支部との合同講演会（中国・四国支部 11 月～2 月）
- t. 第 68 回講演大会（九州支部 4 月）
- u. 現場技術発表会（東海支部 長野 9 月, 三重 11 月, 静岡 2 月）

(2) 技術講習会

- ①「QC 手法を用いた鑄造現場改善の進め方」2015 年 5 月 22 日（早稲田大学）
- ②「(テーマ未定)」8 月開催予定（本部 行事企画委員会主催）

- ③ 学生鋳物コンテスト開催(本部 行事企画委員会主催)
- ④ 「鋳造業向け材料力学入門講座」開催(本部 企画委員会主催：7～8月)
- ⑤ 「(テーマ未定)」2015(平成27)年10月23日(室蘭：蓬莱殿)
- ⑥ キュボラキャラバン(本部 企画委員会主催：12月 関西エリア予定)
- ⑦ 技術講習会(2015年11月中旬 石川県)
- ⑧ 第15回夏期・鋳造技術講座(東北支部 9月上旬 盛岡市)
- ⑨ 基礎講座(鋳鉄)(東海支部 6月 刈谷市)
- ⑩ 非鉄専門講座(アルミニウム鋳物)(東海支部 8月 愛知県刈谷市)
- ⑪ 非鉄専門講座(ダイカスト)(東海支部 11月 刈谷市)
- ⑫ 講習会(鋳造セミナー)(関西支部:本部と共催 1回)
- ⑬ 鋳造技術講習会(中国・四国支部 4月, 12月)
- ⑭ 中級講座(鋳鉄)(東海支部 9月 刈谷市)
- ⑮ 鋳造初級講座の立案, 検討, 実施(九州支部)
- (3) シンポジウム
  - ① 研究部会の成果を報告するシンポジウムを2回開催する.
  - ② 特殊鋳型部会「低エネルギーシステムと環境改善に関する研究」 2015年  
6月25日(木) 早稲田大学 西早稲田キャンパス
- (4) YFE大会
  - ① YFE大会(春季全国講演大会時 5月 東京都)
  - ② 鋳物体験教室(こども鋳物教室)を開催(関東支部)
  - ③ 東北支部第23回YFE大会(11月 福島県)
  - ④ YFE発表大会(関西支部 12月 学生, 若手研究者・技術者による発表大会)
  - ⑤ YFE懇話会(東海支部 4回/年)
- (5) 工場見学会
  - ① 工場見学会(勉強会共催 関東支部)
  - ② 工場見学会(北陸支部 未定)
  - ③ 工場見学会(東海支部 11月 三重県, 2016年2月 静岡県)
  - ④ YFEによる会社見学会(関西支部 未定)
- (6) こども鋳物教室
  - 「鋳物の日」共通企画実施(本部YFE委員会)
  - ① 鋳物体験教室(こども鋳物教室)の開催(関東支部)
  - ② こども鋳物教室(北陸支部 8月福井県)
  - ③ こども鋳物教室(YFE社会貢献事業)(中国・四国支部 6～12月)
- (7) 海外交流講演会
  - 日中韓交流講演の開催(5月23日東京 早稲田大学)
- (8) 鋳造カレッジの開催(一般社団法人日本鋳造協会に協力)(関東, 東海, 関西の3地区で開催 6月開講)
- (9) 鋳造カレッジ上級コースの開催 7月開講(一般社団法人日本鋳造協会に協力)
- (10) (一財)素形材センターとの共催による研修講座, 技術セミナーの開催

## 2. 鋳造工学に関する調査研究事業(公2)

鋳造工学に関する各技術分野の専門家による, 鋳造工学に関する研究, 調査, 技術交流事業を行う. 下記の研究部会の研究成果, それに基づく研究報告書に関するシンポジウム等を開催し, その研究成果を公開する. 調査研究の結果を実際の実務, 業務に生かすため, 鋳造に関する工場見学会を行うなど, 現場での技術交流を深める. 研究活動の成果は研究報告書として発

行し、その有効活用に努める。広く鑄造工学に関する情報や資料の収集を行い、その技術的な研究を発表することで日本の経済、ものづくりの発展に寄与する。

- (1) 研究部会活動の推進と研究報告書、レビュー記事などの発表を行う。(2回)
- (2) シンポジウムの開催による研究部会成果の公開を行う。(2回)
- (3) 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催し、部会活動の成果を報告する。(春季及び秋季大会時)
- (4) 技術研究会(3つのテーマ)を適宜開催する。(北海道支部)
- (5) 企画技術委員会を適宜開催する。(北海道支部)
- (6) 鑄造技術部会(第91回7月下旬 秋田県, 第92回1月下旬 福島県, 東北支部)
- (7) 現場鑄造技術研究会(企画委員会1回, 研究会3回 関東支部)
- (8) 研究発表会(YFE, 鑄造協会北陸支部と共催 2016年3月 富山県 北陸支部)
- (9) 関西鑄造懇話会(関西支部3回)
- (10) 消失模型研究会(関西支部4回)
- (11) 支部研究発表会(中国・四国支部 12月)
- (12) YFE 鑄造技術研究会(中国・四国支部 鑄造技術研究会1回, YFE「いいもの」研究部会2~3回, こども鑄物教室1回)
- (13) 九州鑄物研究会(九州支部3回)
- (14) YFE 勉強会(九州支部1回)
- (15) 研究部会(東海支部4回/年)

さらに、鑄造工学に関する相談事業として下記の3つを行う。

- ① 鑄造工学に関する技術相談事業
- ② 鑄造工学に関する論文執筆及び現場技術改善事例執筆相談事業
- ③ 鑄造工学に関するQ&A コーナーを設置

それぞれについては、下記の内容である。

#### ① 鑄造工学に関する技術相談事業

ホームページ上の相談申込書に必要事項を記入し、郵便、FAX、メールにより事務局へ相談を申込む。事務局において相談内容を検討の上、相談員を決定し、その内容を相談員に提示する。相談員はそれに対し回答し、文章等で相談者に送付する。回答内容については相談者の了解を得た上で、会誌に掲載することがある。相談費用は無料である。1回の相談だけで解決しない場合には、相談員と相談者が話し合いを継続することも可能である。また、相談員には守秘義務が課せられている。

#### ② 鑄造工学に関する論文執筆及び現場技術改善事例執筆相談事業

鑄造に関する論文執筆作成に資するため、投稿までの論文執筆に関し、まとめ方や執筆の仕方をアドバイスする「論文執筆アドバイザー」及び「現場改善事例執筆アドバイザー」制度を設ける。この制度を利用するには、利用希望者が事務局まで申込を行い、さらに「論文執筆アドバイザー制度利用申込書」あるいは「現場改善事例執筆アドバイザー制度利用申込書」を提出する。執筆者と事務局が中心となり、アドバイザーを決定し、その後は執筆者とアドバイザーが直接打ち合わせの上、執筆を開始する。その後、ひと月ごとに執筆者には「執筆進捗状況報告書」の提出を求め、最終的には論文あるいは現場技術改善事例の投稿をもって制度利用は終了する。

#### ③ 鑄造工学に関するQ&A コーナーの設置

ホームページ上に「鑄造工学に関するQ&A コーナー」を設置し、鑄造技術に関して日頃から疑問に感じていることや知りたい情報などの希望を受け、それぞれの分野の専門家が回答する。質問はウェブ上の申込フォーム、メール、はがき、郵便等で受け、質問者の氏名は掲載

しない等（イニシャルやペンネームで掲載する）個人情報保護に留意する。鑄造工学に関する質問であれば基本的にすべて受付け、専門家が随時回答するが、質問の回答を掲載するまで最低3ヵ月程度期間を要する場合もある。

### 3. 表彰及び奨励事業（公3）

将来の鑄造産業及び日本の製造業の発展のため、優れた業績を挙げた会員や一般市民には日本鑄造工学会大賞をはじめ11種類の表彰を行う。2012年度から開始した、優れた鑄物の製造や開発に対するキャストィングスオブザイヤー賞をさらに充実させる。その他、学術講演会では研究成果を発表した学生の優秀講演に対する表彰の実施、鑄造関連企業に就職した大学等の卒業生には奨励賞制度を設けている。また、寄附金をもとに設定した基金から、若手研究者の研究奨励、海外等での発表に対する活動支援、新東工業鑄造技術研究奨励制度で、研究や活動を支援する。

地域に密着した表彰及び奨励制度により、支部において選考された方々の表彰、奨励を行う。

#### (1) 表彰

##### a. 本部関係

日本鑄造工学会大賞（2件）、優秀論文賞（1件）、論文賞（2件）、クボタ賞（2件）、飯高賞（2件）、功労賞（7件）、技術賞（4件）、網谷賞（4件）、豊田賞（3件）、日下賞（3件）、キャストィングスオブザイヤー賞（2件）の授与

##### b. 支部関係

- |             |  |
|-------------|--|
| ① 北海道支部関係   | 長岡金吾賞（新設）、支部功労賞、支部奨励賞の授与                 |
| ② 東北支部関係    | 大平賞、金子賞、井川賞、堀江賞の授与                       |
| ③ 関東支部関係    | 特別功労賞、功績賞、現場技術改善賞の授与                     |
| ④ 東海支部関係    | 支部賞、奨励賞、堤記念賞、功労賞、特別功労賞<br>功績賞、技術賞、感謝状の授与 |
| ⑤ 関西支部関係    | 石野賞、功労賞、技術功労賞、研究奨励賞の授与                   |
| ⑥ 中国・四国支部関係 | 片島賞、功労賞、支部奨励賞の授与                         |
| ⑦ 九州支部関係    | 技能功労賞、技術奨励賞の授与                           |

#### (2) 奨励助成

- |       |   |
|-------|---|
| a. 本部 | 若手研究奨励（6名以内）、若手活動支援（2名以内）、新東工業鑄造技術研究助成（1名以内）              |
| b. 支部 | 東海支部 研究助成、研究部会助成の実施<br>関西支部 研究奨励、研究助成、奨学の実施<br>九州支部 奨励の実施 |

### 4. 鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業（公4）

学会誌「鑄造工学」を引き続き毎月発刊する。最新の研究論文、技術論文をはじめ技術報告、解説、連載講座、現場技術改善事例、レビューの他、鑄造業界の要人のインタビュー記事やQ&Aコーナーに加え、今年度から「海外生活体験レポート」を新たに掲載する、また新連載講座として「鑄造要素技術」を開始する。特集は3回組み、研究者、技術者及び経営者のいずれの方々にも役立つ情報を掲載する。英文誌「Materials Transactions」の8学協会との共同発刊に協力するとともに、本学会会員の投稿を積極的に推進する。

会誌のJ-STAGE登載は、第81巻（2009年）まで完了し、今年度は第82巻を掲載する。また、支部においては地域の会員等との魅力ある活動の一環で、地域毎特徴のある支部会報の発行を進め、普及を図る。

#### (1) 学会誌「鑄造工学」の定期発刊

会誌「鑄造工学」第87巻第4号より第88巻3号までの12冊を発行する。  
特集号を6月、8月、12月に発行する、

- (2) 全国講演大会講演概要集を5月、10月に発行する。
- (3) 技術講習会テキストを5月、10月に発行する。
- (4) シンポジウムテキストとして研究報告書を2回発行する予定である。
- (5) 研究報告書はNo. 116, No. 117を発行予定である。
- (6) 支部会報発刊（北海道支部 第143号 2015年10月発行予定
- (7) 支部会報発刊（東北支部 第51号 平成28年3月）
- (8) 関西支部報（関西支部通信 第3号を発刊）
- (9) 支部会報「こしき」37号の発行（中国・四国支部 12月）

## **5. 会員等に頒布する図書発行业（他1）**

専門誌、図書発行を行う。当事業では、鑄造研究者、鑄造技術者向けに鑄造工学に関する専門誌を発行し、会員はじめ鑄造関連技術者相互の利益を図る。

主に鑄造分野の特定領域について深く掘り下げた専門性の高い内容を図書としているもので、多くの数の発刊が望めないものであるが、この分野においては必要不可欠な、将来に残すべき内容をまとめて発刊する。分野の先進の専門家が編集委員会を組織し、データの収集と編集を行う。

今年度は75周年記念に発刊し、継続して好評である「鑄造欠陥とその対策」の英語バージョンをWFC2016開催時の発刊に向け、翻訳作業を完了させる。

- (1) 研究報告書、テキストなどの発行
- (2) 「鑄鉄溶解ハンドブック」改訂版の発刊準備作業の促進。
- (3) 会誌「鑄造工学」に連載した「鑄造工学概論」を、10月に書籍として発刊する。

## **6. その他、本会の目的を達成するための事業**

- (1) 国内関係
  - ① 日本工学会など関連学会との協力
  - ② (一社)日本鑄造協会、(一財)素形材センターと協力して各種研修会等を開催。
  - ③ 関連する工業会、支部との連携を強化する。
- (2) 国際関係
  - ① 2016年5月名古屋開催の第72回WFC2016世界鑄造会議開催準備
  - ② アジア鑄物会議への参加
  - ③ 中国鑄造学会、韓国鑄造工学会との交流
  - ④ 来日外国学識者との交流
  - ⑤ 海外開催学会、GIFAへの派遣
  - ⑥ 海外技術動向調査

## **7. 本会の法人管理・運営に関する事業**

- (1) 2015（平成27）年度定時社員総会 早稲田大学（2015年5月23日）  
その他、各支部において支部総会を開催（4月 北海道、東北、関東、北陸、東海、関西、中国・四国、九州支部）
- (2) 理事会の開催
  - a. 本部 7回開催
  - b. 支部 2～8回開催（各支部）
- (3) 各種委員会の開催（本部関係）

- ① 企画委員会 (2回開催)
    - a. 長期ビジョンで策定されたロードマップのフォローアップ.
    - b. 会員満足度向上のための諸企画について検討・立案を図る.
    - c. 会員増強に資するための非会員に対する学会知名度向上策についての検討・立案.
    - d. 鑄造関連団体との連携強化策についての検討・立案.
  - ② 行事企画委員会 (2回開催)
    - a. 大学生を対象に「鑄物コンテスト」を開催する.
    - b. 若手・中堅技術者を対象に鑄造技術に関する講習会を開催する.
  - ③ 編集委員会 (本委員会 12回, 合同編集委員会 2回開催)
    - a. より一層の会員サービス向上を目指して, 掲載記事の拡充及び充実を図る.
    - b. 英文誌「Materials Transactions」共同刊行を推進する.
    - c. 査読の電子化を進める.
  - ④ 国際関係委員会
    - a. WFC2016 世界鑄造会議 (名古屋 ポートメッセなごや開催) 開催準備.
    - b. 日本・韓国・中国鑄造学会との交流を推進する.
    - c. 日韓 YFE 大会への参加.
    - d. AFC15 第 15 回アジア鑄物会議への参加
  - ⑤ 研究委員会 (2回開催)
    - a. 研究報告書の編集・発刊を推進する.
    - b. シンポジウムを開催する.
    - c. 研究ロードマップを推進する.
    - d. 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催する.
  - ⑥ YFE 委員会 (2回開催)
    - a. 「こども鑄物教室」, 「鑄物体験教室」を企画, 推進する.
    - b. 若手鑄造技術者, 研究者による研究発表や技術交流を図る.
    - c. YFE 講演大会を開催する.
    - d. 理系学生応援プロジェクトを北海道支部以外に拡大展開する.
  - ⑦ 財務委員会 (2回開催)
    - a. 財政強化のための施策を検討, 推進する.
    - b. 会計業務の監督, 指導を行い, 財政の健全運営を図る.
  - ⑧ 人材育成委員会
    - a. (一社)日本鑄造協会との合同委員会により「鑄造カレッジ・中核人材育成事業」を推進する. 今年度は鑄造カレッジ上級コースの2年目を開催する.
    - b. (一財)素形材センターの研修講座及び技術セミナーを共催する.
  - ⑨ 広報委員会
    - a. 学会ホームページの充実を図る.
    - b. 学生や入社間もない人に鑄造の魅力を伝えるための DVD を 5 月に制作する.
- (4) 委員会 (支部関係)
- 各支部で, 企画委員会, 広報委員会, 人材育成委員会, 研修講座運営委員会, YFE 委員会を計画的に開催し, 支部の状況に応じた各種取組みを計画立案, 実行に向けた方策を推進する.

## 2015(平成27)年度本部事業計画に関する事項

### 1. 総会に関する事項(定款第13条)

平成27(2015)年度定時社員総会は、平成27(2015)年5月23日(土)16時00分より、早稲田大学西早稲田キャンパス(東京都新宿区)にて開催予定。

### 2. 表彰・奨励に関する事項(定款第4条第4号)

#### 1) 表彰 平成27(2015)年度は、次の各賞を授与予定。

日本鑄造工学会大賞	2件	2名
論文賞	3件	22名
クボタ賞	2件	2名
飯高賞	2件	2名
功労賞	7件	7名
技術賞	4件	10名
網谷賞	4件	4グループ
豊田賞	3件	3グループ
日下賞	3件	3名
Castings of the Year賞	2件	

#### 2) 奨励・助成

- (1) 平成27(2015)年度の日本鑄造工学会新東工業鑄造技術研究奨励金を1名に授与する。
- (2) 平成28(2016)年度に鑄造業関連に就職する大学等の卒業予定者で、支部からの推薦に基づき「奨励賞」を授与する。
- (3) 平成27(2015)年度の「特別若手研究奨励金」を1名、「若手研究奨励金」を5名以内に授与する。
- (4) 平成27(2015)年度の「若手活動支援金」を2名に授与する。

### 3. 全国講演大会(定款第4条第1号)

#### 1) 第166回全国講演大会及び諸行事に関する事項

日時:平成27(2015)年5月22日(金),23日(土),24日(日),25日(月)

場所:早稲田大学西早稲田キャンパス (東京都新宿区大久保3-4-1)

行事:(1) 研究発表講演会

(2) 論文賞受賞記念講演

(3) オーガナイズドセッション 7件

「現場技術改善事例」

「鑄造人材育成」



「3D積層造型鋳型を用いた鋳造技術の進展」  
「素形材技術一切磋琢磨し合ってきた仲間の技術を今あらためて知ろう」  
「新JIS合金の特性と銅合金鋳造技術の進展」  
「人と環境に優しい鋳造設備技術」  
「精密鋳造用WAX特性試験方法の策定と最近の精密鋳造技術について」

(4) 日中韓交流講演

(5) パネルディスカッション

「鋳物を愉しむー鋳造業界の未来を担う人財を育てるー」

(6) YFE(若手鋳造技術者・日下賞受賞者, 新東工業鋳造技術  
研究奨励金受賞者記念講演を含む)大会

(7) 学生のための会社紹介コーナー

(8) 技術展示会(カタログ展示, PRタイム)

(9) 工場見学会

(10) 懇親交流会

(11) エクスカーション

(12) 懇親ゴルフ大会

## 2) 第167回全国講演大会及び諸行事に関する事項

(一般社団法人日本鋳造協会との合同開催)

日時:平成27(2015)年10月23日(金)~26日(月)

場所:室蘭工業大学(北海道室蘭市水元町27-1)

行事: (1) 研究発表講演会

(2) 技術賞・豊田賞受賞記念講演

(3) オーガナイズドセッション

(4) 特別講演

(5) こども鋳物教室

(6) 工場見学会

(7) 懇親交流会

(8) 技術展示会

(9) エクスカーション

## 4. 技術講習会に関する事項(定款第4条第1号)

1) 「QC手法を用いた鋳造現場改善の進め方」

日時:平成27(2015)年5月22日(金) 10:00~17:00

場所:早稲田大学西早稲田キャンパス (東京都新宿区大久保3-4-1)

2) 「(テーマ未定)」

日時:平成27(2015)年10月23日(金)

場所:蓬萊殿(北海道室蘭市宮の森町1-1)

3)「(テーマ未定)」8月開催予定 本部行事企画委員会・関西支部共催

5. シンポジウムに関する事項(定款第4条第1号)

研究部会の成果を報告するシンポジウムを2回開催する予定.

1)「導電率測定によるアルミニウム合金鋳物のマイクロ組織及び材料特性の予測」

軽合金部会

日時:2015年6月9日(火)

場所:大田区産業プラザ(東京都大田区南蒲田1-20-20)

2)「低エネルギーシステムと環境改善に関する研究」

特殊鋳型部会

日時:2015年6月25日(木)

場所:早稲田大学西早稲田キャンパス(東京都新宿区大久保3-4-1)

6. 技術賞・豊田賞受賞記念講演会に関する事項(定款第4条第1号)

受賞記念講演は秋季開催の全国講演大会時に行う.

7. YFE活動に関する事項(定款第4条第1号)

1) 第166回全国講演大会 YFE大会

日時:平成27(2015)年5月24日(日)

場所:早稲田大学西早稲田キャンパス

- |                  |     |
|------------------|-----|
| ① 鋳造技士講演         | 10件 |
| ② 新東工業若手研究助成特別講演 | 1件  |
| ③ 日下賞受賞者講演       | 3件  |

8. 国際会議に関する事項(定款第4条第1号, 5号)

1) 日韓YFE大会(韓国で開催)に参加.

2) 日・中・韓交流講演 5月23日(土) 早稲田大学西早稲田キャンパス

9. 出版に関する事項(定款第4条第4号)

1) 定期刊行物

会誌「鋳造工学」第87巻第4号より第88巻第3号まで12冊を発行予定,  
特集号を6月, 8月, 12月に発行する.

2) 全国講演大会講演概要集を5月及び10月の2回発行する.

3) 技術講習会テキスト

(1)「QC手法を用いた鋳造現場改善の進め方」を5月に発行予定.

(2)「(題目未定)」を10月に発行予定.

- (3) 「(題目未定)」技術講習会テキストを8月に発行予定.
- 4) シンポジウムテキスト  
シンポジウムのテキストを, 2件発行予定.
- 5) 研究報告書  
No.116より順次発行予定.
- 6) 「鑄鉄溶解ハンドブック」の改訂版発刊準備作業の促進.

10. 各種委員会に関する事項(定款第5条-(6)項)

- 1) 企画委員会に関する事項
  - (1) 会員満足度向上に繋がる本会活動の活性化のための諸企画を立案・推進する.
  - (2) 会員増強に資するための非会員に対する学会知名度向上策についての検討・立案する.
  - (3) 鑄造関連団体との連携の強化.
  - (4) (一財)素形材センターとの共催で「鑄造技術研修講座」を開催する.
- 2) 行事企画委員会に関する事項
  - (1) 学生鑄物コンテストを開催する.
  - (2) 支部講習会等の活動行事を支援・推進する.
  - (3) 本部主催の講習会を開催する.
- 3) 編集委員会に関する事項(本委員会12回, 合同編集委員会2回開催)
  - (1) より一層の会員サービス向上を目指して連載記事の拡充及び充実を図る.
  - (2) 英文誌“Materials Transactions”の共同刊行を推進する.
  - (3) 査読の電子化を開始し, 会誌掲載までの期間短縮を図る.
- 4) 国際関係委員会に関する事項
  - (1) 英文誌“Materials Transactions”の共同刊行へ協力する. また, 本英文誌へ本会員の研究論文が掲載されるよう支援する.
  - (2) WFC2016世界鑄造会議開催に向け, 論文に引続き参加者の募集を開始.
  - (3) 日本・韓国・中国の鑄造工学会交流を推進する.
- 5) 研究委員会に関する事項
  - (1) 研究報告書を発行する.
  - (2) シンポジウムを開催する.
  - (3) 定期的な情報収集と研究ロードマップの見直しを行う.
  - (4) 各部会活動の進捗をフォローする.
  - (5) 全国講演大会でオーガナイズドセッションを開催する.
- 6) YFE委員会に関する事項
  - (1) 「こども鑄物教室」全国版の普及, 「鑄物体験教室」の企画推進を図る.

- (2) 理系学生応援プロジェクトの全国展開に向けた活動を推進する.
  - (3) 鋳造若手技術者育成ネットワーク構築, 若手研究者による研究発表や技術交流の促進を図る.
  - (4) YFE講演大会を開催する.
- 7) 財務委員会に関する事項
- (1) 財政強化のための施策を検討・推進する.
  - (2) 会計業務の監督・指導を行い、財政の健全運営化を図る.
  - (3) 前年度に引き続き, 更なる経費削減活動を推進する
- 8) 人材育成委員会に関する事項
- (1) (一社)日本鋳造協会主催の「鋳造カレッジ上級コース」を支援する.
  - (2) (一財)素形材センターの研修講座, 技術セミナーの共催を推進.
- 9) 広報委員会に関する事項
- (1) 鋳造の魅力を高校生や大学生等に紹介するためのDVDを制作する.
  - (2) 学会ホームページの充実と定期的更新.
  - (3) メーリングリストを活用した学会情報の定期的配信充実.
  - (4) 鋳造関係のデータベースを検索できるシステムを作成.

## 2015(平成27)年度支部事業計画に関する事項

### 1. 北海道支部

1. 支部大会  
支部講演大会を2015年4月24日(金)千歳アルカディアプラザ(千歳市)にて開催を予定
2. 企画技術委員会  
適宜開催
3. 技術研究会  
鑄造技術研究会(長船主査)、鑄造技術教育研究会(戸羽主査)、非鉄鑄物の高度化技術研究会(柴田主査)を適宜開催する。
4. 支部編集委員会  
支部会報第142号の発行 2015年4月末発行予定  
全国大会開催記念誌(支部会報第143号) 2015年10月発行予定
5. 支部理事会  
定例支部理事会は2016年1月末または2月初旬に実施。
6. 平成27年秋全国大会(北海道)  
10月23日(金)～10月26日(月) 室蘭工業大学

### 2. 東北支部

- (1) 理事会  
平成27年度定例理事会  
開催日:平成28年3月下旬予定  
開催場所:盛岡市
- (2) 支部大会  
第45回宮城大会  
開催日:平成27年4月15日～16日  
開催場所:仙台市
- (3) 鑄造技術部会
  - 1) 第91回鑄造技術部会  
開催日:平成27年7月下旬予定  
開催場所:秋田県を予定
  - 2) 第92回鑄造技術部会  
開催日:平成28年1月下旬予定  
開催場所:福島県を予定
- (4) 東北支部第23回YFE大会  
開催日:平成27年11月上旬予定  
開催場所:福島県を予定
- (5) 第15回夏期・鑄造技術講座  
開催日:平成27年9月上旬予定  
開催場所:盛岡市
- (6) 支部会報  
第51号は、平成28年3月上旬発行予定

### **3. 関東支部**

1. 幹事会・理事会

理事会を5回、幹事会を5回、顧問会を1回開催する。

2. 総会

平成27年度通常総会を、平成27年4月17日(金)に日立金属高輪和彊館において開催する。

3. 加山記念講演会

平成27年4月17日(金)に日立金属高輪和彊館において第27回加山記念講演会を開催する。

講演題目 : 「アルミニウム合金の時効現象と最近の話題」

講師 : 東京工業大学 名誉教授 里 達雄氏

4. 研究委員会

支部講演会を2回、加山記念講演会を1回開催する。

第166回全国講演大会技術講習会にて「QC手法を用いた鑄造現場改善の進め方」を実施する。

5. 現場鑄造技術研究会

企画委員会を1回、研究会を3回開催する。

6. YFE 企画委員会

全国講演大会に合わせてYFE大会の開催ならびに子供いもの教室を開催する。

工場見学会(勉強会共催)および鑄物体験教室(子供いもの教室)を開催する。

7. 広報委員会

これまでのコンテンツを中心に毎月記事を集めて更新する。

会誌「鑄造工学」の現場技術改善事例の執筆依頼候補12社を選定し本部編集委員会へ推薦するとともに、各企業に執筆を依頼する。

平成26年度支部活動をまとめてNo.32「支部便り」を編集してHPへ掲載する。

会誌「鑄造工学」の<支部だより>の執筆:平成26年度の活動状況を「関東支部活動報告」として掲載する(Vol.87(2015)5月号)。

平成27年度の活動状況について、平成28年3月頃に投稿する。

8. 人材育成委員会

委員会を3回開催する。

日本鑄造協会主催の関東地区の鑄造カレッジ及び鑄造入門講座開催を支援する。

9. 企画委員会

(1) WFC2016 募金活動

(2) 第116回全国講演大会での行事企画

(3) 理系学生応援プロジェクトの推進

10. 第166回全国講演大会

早稲田大学西早稲田キャンパスを中心として平成27年5月22日～5月25日まで開催する。

11. WFC2016

WFC2016の開催に向けた準備を行う。

### **4. 北陸支部**

- (1) 支部総会 (YFEと共催)  
総会を1回(2015年4月27日の予定)開催し、前年度の決算報告、当該年度の予算と計画している行事の説明をするとともに、出席者から意見を募り、支部運営の全般について議論し、意見集約する。
- (2) 理事会 (YFEと共催)  
支部運営全般に関する議論と方針の決定のために、4回開催する。
- (3) 企画委員会 (YFEと共催)  
支部講演会、支部技術講習会、支部工場見学会、支部研究発表会などの支部主催行事の具体的内容を企画するために、3回開催する。
- (4) (社)日本鑄造協会北陸支部との共催事業 (支部講演会)  
開催日 : 2015年4月27日の予定  
開催地 : 石川県の予定  
内 容 : 講演会と懇親会を共催する。北陸地区の企業または公的機関、北陸地区外の講師に鑄造業界のトレンド、最新研究動向、経済状況予測などをご講演いただき、北陸地区内の活性化の一助にするとともに、会員相互の情報交換の場を提供する。上記(1)の支部総会の終了後に開催することを計画している。
- (5) 支部技術講習会 (YFE及び(一社)日本鑄造協会北陸支部と共催)  
開催日 : 2015年11月中旬の予定  
開催地 : 石川県  
内 容 : 企画委員会でテーマを検討し、それに即した講師(2名程度)を招聘する。
- (6) 支部工場見学会 (YFE及び(一社)日本鑄造協会北陸支部と共催)  
1回開催する。開催日及び見学先は、未定である。
- (7) 支部研究発表会 (YFE及び(一社)日本鑄造協会北陸支部と共催)  
開催日 : 2016年3月の予定  
開催地 : 富山県  
内 容 : 企画委員会でテーマを検討し、それに即した研究を行っている支部会員あるいは支部外の講師に発表していただき、支部内の研究活動の活性化を図る。
- (8) YFE こども鑄物教室  
開催日 : 2015年8月の予定  
開催地 : 福井県の予定  
内 容 : 工業見本市などの展示会にて出展し、鑄造技術を使った日用品作製を体験してもらい、鑄造とその関連技術の理解促進に努める。
- (9) 支部代議員選挙  
2016年3月末日に任期満了となる支部代議員選挙を行う。

## 5. 東海支部

平成27年度 (公社)日本鑄造工学会東海支部役員会実施計画 (案)

日 時	会 場	会議名称	H27年度の議事
H27.4.10	キャッスルプラザ	顧問理事会	1. 平成26年度事業報告及び決算報告
〈金〉	愛知県産業労働センタ	平成27年度総会	2. 平成26年度支部表彰受賞者について
	901大会議室		3. 平成27年度支部長及び役員体制について

		4. 平成 27 年度事業計画(案)及び予算(案)
		5. WF C2016 について
		6. 事務局移転について
		7. その他
H27. 5. 15	愛知県産業労働センター 企画委員会 (金) 1006 会議室	1. 平成 27 年支部役員について 2. 平成 27 年度支部行事計画について 3. 暑中見舞い広告掲載依頼について 4. 「現場改善事例」執筆先推薦依頼について 5. WF C2016 について 6. その他
H27. 6. 19	愛知県産業労働センター 理事会 (金) 906 会議室	1. 平成 27 年度支部役員について 2. 平成 27 年度支部行事計画について 3. 本部理事会報告 4. 会誌掲載用「現場改善事例」について 5. WFC2016 について 6. その他
H27. 10. 2	愛知県産業労働センター 表彰選考委員 いて (金) 905 会議室 て	1. 平成 28 年度本部表彰(6 賞)候補者につ いて 2. 永井科学技術財団賞 技術賞候補につい て 3. その他
H27. 10. 2	愛知県産業労働センター 企画担当理事会 (金) 905 会議室	1. 平成 27 年度支部事業の進捗報告 2. 平成 28 年度支部事業について 3. WF C2016 について 4. その他
H27. 10. 23	愛知県産業労働センター 理事会 つい (金) 907 会議室	1. 平成 28 年度本部表彰(6 賞)推薦候補に て 2. 平成 27 年度支部事業の進捗報告 3. 平成 28 年度支部事業について 4. 本部理事会報告 5. WFC2016 について 6. その他
H28. 1. 15	愛知県産業労働センター 研究部会委員会 (金) 905 会議室	1. 平成 27 年度各研究部会・懇話会進捗報告 2. 研究部会の運営について 3. その他
H28. 1. 15	愛知県産業労働センター 表彰選考委員会 (金) 905 会議室	1. 平成 27 年度支部表彰選考について 2. その他
H28. 2. 19	愛知県産業労働センター 企画担当理事会 (金) 904 会議室	1. 平成 27 年度支部事業の進捗状況について 2. 平成 28 年度支部事業について 3. 平成 28 年度総会日程について 4. WF C2016 について 5. その他
H28. 3. 11	愛知県産業労働センター 理事会 て	1. 平成 27 年度支部行事・会計報告につい て



(金)

2. 平成 27 年度支部表彰について
3. 平成 28 年度支部行事計画・予算案につい

て

4. 平成 28・29 年度支部役員について
5. 本部理事会報告
6. 平成 28 年度総会・特別講演会について
7. WF C2016 について
8. 事務局移転について
9. その他

H28. 4. 8 キャッスルプラザ 顧問理事会  
 (金) 愛知県産業労働センター 平成 28 年度総会

1. 平成 27 年度事業報告及び決算報告
2. 平成 27 年度支部表彰受賞者について
3. 平成 28・29 年度支部役員及び役員体制

につ

いて

4. 平成 28 年度事業計画(案)及び予算(案)
5. WF C2016 について
6. その他

平成 27 年度 (公社) 日本鑄造工学会東海支部行事計画 (案)

開催年月	地区	行事	内容
H27. 4. 10 (金)	名古屋	総会	1. 支部総会 2. 支部表彰式
H27. 5	愛知県	特別講演会	1. 特別講演会
H27. 9	静岡県	若手討論会	1. 若手技術者討論会
H27. 6	刈谷市	若手討論会	1. 若手技術者討論会
H27. 6	刈谷市	鑄鉄基礎講座	1. 基礎講座
H27. 7	名古屋	特別講演会	1. 特別講演会 2. 会員交流会
H27. 8	刈谷市	非鉄専門講座	1. アルミニウム鑄物
H27. 9	刈谷市	鑄鉄中級講座	1. 中級講座
H27. 9	長野	技術講演会	1. 技術講演 2. 研究部会報告 3. 現場技術発表
H27. 11	愛知	豊橋技科大特別講義	1. 特別講義
H27. 11	刈谷市	非鉄専門講座	1. アルミニウムダイカスト
H27. 11	三重	技術講演会	1. 技術講演 2. 研究部会報告 3. 現場技術発表
H28. 2	三重 静岡	工場見学 技術講演会	4. 工場見学 1. 技術講演 2. 研究部会報告 3. 現場技術発表
H28. 4	名古屋	工場見学 総会	4. 工場見学 1. 支部総会

2. 支 部 表 彰 式  
1. 特 別 講 演 会

特別講演会

研究部会、YFE 懇話会 各 4 回/年 活動予定  
○ 鑄鉄鑄物研究部会  
○ 非鉄鑄物研究部会  
○ 先端プロセス研究部会  
○ YFE 懇話会

## 6. 関西支部

### 期間活動スローガン

会員及び賛助会員の行事参加への推進

### 重要課題

若手鑄造技術者の育成  
産学連携の強化

### 平成 27 年度 活動計画

#### (1) 通常会合

支部運営のために下記役員会および委員会を開催する。

顧問会(1 回)、理事会(5 回)、運営連絡会 (適宜)、企画・資金・総務各担当理事会(適宜)、研究運営委員会(1 回)

#### (2) 支部総会、代議員会および講演大会

年 2 回 (春・秋) 講演大会を開催し、支部会員の研究発表、研究奨励助成金研究の成果報告、各研究会活動状況の報告、および特別講演を行う。

尚、春季支部大会には代議員会・総会を開催するとともに、支部功労賞、支部技術功労賞、研究奨励賞、石野賞の表彰式および研究奨励助成金の授与を行う。

#### (3) 支部研究会

平成 23 年度の研究会組織改革により発足した関西鑄造懇話会を (3 回) 開催する。消失模型研究会は今後も支部の研究会としての特徴を出しながら (4 回) 開催する。各研究会は別項に示す計画に基づき活動する。

○ 関西鑄造懇話会 委員長 毛利勝一氏 (平成 27 年度より、丸山徹氏が委員長就任予定)

イ. 研究会開催回数 3 回

ロ. 研究テーマ

鑄造工学に関連する基礎的な技術議論のみならず先端的な研究開発についても理解を深める。

また、支部会員相互の交流のため名刺交換交流会を開催する。なお、委員長団、幹事団で企画運営した方式を平成 27 年度も踏襲する。

○ 消失模型鑄造法 研究会委員長 池永 明氏

イ. 研究会開催回数 4 回

#### (4) 講習会(鑄造セミナー) (1 回)

鑄造技術に関する最近の問題点や技術の動向を取り上げ、数名の講師による講演と討論を企画。

本年度も本部との共催行事として 8 月末に開催予定。

#### (5) 広報委員会

平成 24 年 4 月 1 日の本部ホームページ更新に伴い、今年度も支部のホームページを充実させ支部及び本部行事の広報活動を継続。(平成 24 年 11 月 13 日、支部ホームページをリニューアル)

支部ホームページ・アドレス: <http://www.jfs-kansai.jp/>

日本鑄造工学会のホームページ・アドレス: <http://jfs.or.jp/>

(6) 関西支部通信

本年度は適宜支部通信編集委員会を開催し9月頃の第3号発刊に向け、編集作業を行う。

(7) 研修講座運営委員会

平成27年度も(財)素形材センターと共催で、「鑄鉄の基礎と応用」と「銅合金鑄物の生産技術」を実施する予定。鑄鉄講座は昨年より一部に実習を取り入れているので、この部分でも支部が協力・支援し、より効果的な実習を図る。

(8) YFE委員会

①YFE委員会

「学生・院生、若手研究者・技術者による発表大会」(YFE発表大会)

日時：平成27年12月

研修・勉強・研究のための活動であると同時に、学生、若手技術者、技能者、研究者によるネットワーク作りの一環として行いたい。また今年度より関西鑄造技士会との共催を検討する。

②会社見学会(日時未定)

③高校生対象の会社見学会・鑄物教室(日時未定)

(9) 鑄造中核人材育成事業

目的：将来の工場長や経営幹部となる人材の育成。

平成27年度は鑄造カレッジ鑄鉄コース及び鑄鋼コースインターンシップの実施

実施期間 平成27年6月～平成28年2月

また本年度より鑄造カレッジ卒業生を対象とした上級コースが開催される。この事業に対しても引き続き開催の支援を行う

(10) 産学連携を強化

関連する工業会と支部との連携を強化。

(11) 会員増強活動

関西鑄造技士会(会長：尾鼻美規氏)が1回/年開催する講演会に対して支部が協力・支援する。

(12) 支部運営体制の構築

前年度から一部業務を事務委託している。本年度はこれに合わせた事務局の体制作りを行い、次回支部担当全国大会の運営に備える。

## 7. 中国四国支部

- |                     |      |                      |
|---------------------|------|----------------------|
| (1) 支部総会・支部表彰       | 1回   | 4月22日(於、広島市工業技術センター) |
| (2) 理事会             | 1回   | 4月22日(於、広島市工業技術センター) |
| (3) 常任理事会           | 4回   | 4月8日、7月、9月、1月        |
| (4) 鑄造技術講演・講習会      | 2回   | 4月22日、12月            |
| (5) 支部研究発表会         | 1回   | 12月                  |
| (6) YFE事業           |      |                      |
| ・鑄造技術研究会            | 1回   | 7～9月                 |
| ・いいもの研究部会           | 2～3回 | 7月、3月                |
| ・こども鑄物教室            | 1回   | 6～12月                |
| (7) 九州支部との合同講演会     | 1回   | 11～2月                |
| (8) 支部会報「こしき」37号の発行 | 12月  |                      |
| (9) その他             |      |                      |

## 8. 九州支部

- (1) 平成27年度支部総会, 表彰式, 第68回講演大会

## 1)総会

日 時:平成 27 年 4 月 3 日(金)

場 所:九州工業大学 戸畑キャンパス(北九州市戸畑区仙水町 1 番 1 号)

議 題:

- ① 平成 26 年度支部事業報告
- ② 平成 26 年度支部決算報告
- ③ 平成 27 年度支部事業報告(案)
- ④ 平成 27 年度支部予算(案)
- ⑤ 技能功労賞, 技術奨励賞選出

2)表彰式:技能功労賞並びに技術奨励賞表彰.

3)第 68 回講演大会:研究発表.

「球状黒鉛鋳鉄における炭素拡散と組織形成に及ぼす Ni の影響」古川ら(九州工業大学)

「Si 量の異なる球状黒鉛鋳鉄の靱性に及ぼすひずみ速度と温度の影響」池田ら(日之出水道機器)

「接種法によるオーステナイト系ステンレス鋼の結晶粒微細化」 戸渡ら(長崎大学)

「高クロム鋳鉄の凝固組織および熱処理硬さに及ぼす窒素の影響」 宮本ら(九州大学)

「SiC 繊維・粒子ハイブリッド強化金属基複合材料の耐摩耗性」 王ら(長崎大学)

「Mg97Zn1RE2 合金における凝固偏析の定量評価」 池田ら(九州工業大学)

## (2)支部理事会, 代議委員会

1)支部理事会:3回開催する予定.

2)支部代議委員会

日 時:平成 27 年 4 月 3 日(金)

場 所:九州工業大学 戸畑キャンパス(北九州市戸畑区仙水町 1 番 1 号)

## (3)九州鋳物研究会

1) 研究会として3回開催する予定

- ①「分析機器の基礎」
- ②「溶射学会との合同講演会」
- ③「鋳造欠陥と破壊機構」

## (4)鋳造初級講座

- 1) 委員会の発足
- 2) 初級講座の立案, 検討, 実施

## (5)支部 YFE 活動

- 1)YFE 幹事会
- 2)YFE 勉強会